

石巻健育会病院 宮城 峻介（ 介護分野 / リハビリ部 ）

- 功 績 他事業者との差別化を図る取り組みとコロナ禍において安全で丁寧な活動が安定した稼働かつ予算の達成に努めた功績。
- 推 薦 者 伊藤 朋久（ 連携室室長 / 社会福祉士 / 医療連携室 ）
- 推 薦 理 由 他事業所の内容を比較、把握するだけでなく、自分自身の勉強してきたことを通所リハ部門のセールスポイントに活かし、ご利用者紹介に繋げた提案と行動力は予算達成に向けた運営に貢献していると評価し、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

今年度マーケティングとして、リハビリ介護分野と私共が、CMへの毎月の提供票の提出時に協働にて広報を行う目標をたて、実行してきました。ただ、紹介してもらうには他の事業者との差別化を図る必要性も感じていました。

そんな時、人事考課面談にて宮城さんより「他事業所では行っていない上肢訓練があります。差別化を図れる内容なので、私に取り組みしてほしい」との提案が上司にございました。複数回、上司にプレゼンを行い、発表出来る内容まで仕上げたと同時に、毎月の定期訪問の際、紹介利用者の報告だけでなく、上肢訓練の話題も提供し始めました。説明している私共にも今までと反応が違うと判るくらい、CMが興味を持ってくださいました。腕や指先の動作練習の上肢訓練が介護保険で出来れば、生活の選択と活動の場を広げられるご利用者を担当するCMにとっては、とても良い提案だったとの話を後でいただきました。問い合わせがあった事業者を病院にお招きし、宮城さんより実際にどのような訓練を行い、どのような効果があるのかをプレゼンテーションと機械を用いた実体験をして頂くことで、よりイメージし易くなり、新規のご利用者紹介につながりました。

また一番懸念していた感染拡大時期も、科長と一緒に、院長と看護部長に相談の上、手間が掛かっても、丁寧な連絡を行う事で、安全性の確保を心がけ感染対策も行ってくださいました。

部門全員で取り組んできた事もありますが、一つ一つの取り組みが、結果、平均稼働数(20年度39.3名/日→21年度43.0名/日)が向上し、収入も前年度対比+900万円の増収につながりました。